

(別紙2)

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームほほえみ

作成日 令和 4年 8月 18日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	虐待防止の徹底 新人職員への虐待防止に向けた研修が思うように行えていないので認識の相違、意識向上の取り組みが必要である。	「認知症高齢者の尊厳を守り、虐待防止に向けた意識向上に努める。」	①虐待防止についての研修を3か月以内に実施する。 ②職員の過重勤務やストレスの軽減に努める。	R4.10月 末迄
2	6	身体拘束をしないケアの実践 身体拘束検討委員会は適正に開催しているが、運営推進会議と併せて開催しているため議事録が一緒になっている。	身体拘束検討委員会と運営推進会議の議事録を分けて整備する。	身体拘束検討委員会と運営推進会議の議事録を分けてわかり易く整備して記録を残す。	R4.10月 末迄
3	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 高齢化に伴い重度化や終末期の対応が増えてきた。 本人、家族のニーズに寄り添い万全の支援が必要である。	住み慣れたホームで安心して医療や介護のサポートを行う。	終末期医療の取り組みをしている医療機関や訪問看護とも新たに連携をとり、本人、家族のニーズに対応する。	R4.10月 末迄
4	43	排泄の自立支援 排泄誘導及び介助で自立できた排泄は継続されている。 更にこのことを維持できるように細やかな支援を必要とする。	トイレでの排泄を維持していき、きめ細やかな自立支援に向けた取り組みを行う。	排泄動作や機能に大きな関わりがあるとされる骨盤周りの筋力を鍛える体操を取り入れ自立した排泄を維持できるように努める。	R4.9月 末迄
5	35	災害対策 日中を想定した災害避難訓練は行っているが、夜間を想定した訓練は出来ていない。	日中と夜間を想定した災害訓練を行う。	日中と夜間の人員体制や環境が異なるのでそれに即した訓練計画を策定して次回の災害訓練で取り組む。	R4.12月 末迄

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。